

監査結果報告書

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、次のとおり財政援助団体の出納・その他の事務の執行で、当該財政援助に係るものについて監査を実施した。

1 監査の実施概要

(1) 監査の対象

燕第一地区まちづくり協議会 「まちづくり協議会補助金」
(所管課：地域振興課)

(2) 監査の種別

財政援助団体監査

(3) 監査の期間

令和 5 年 9 月 1 日 (火) ～令和 5 年 12 月 25 日 (月)
ヒアリングの実施
実施日：令和 5 年 11 月 14 日 (火)
場 所：燕市小池公民館

(4) 監査の範囲

令和 3 年度及び令和 4 年度に燕市が交付した補助金に係る出納、その他の事務の執行状況

(5) 監査の方法及び着眼点

監査の実施にあたっては、次の項目を主な着眼点とし、関係帳簿・関係書類等を調査するとともに、関係職員からの説明を聴取するなどの方法で実施した。

- ・団体に対する補助金が、目的に沿って執行されているか。
- ・補助金等に係る収支の会計経理等が適切に行われているか。

2 監査対象団体の概要

(1) 名称と代表者等

名 称	燕第一地区まちづくり協議会
代 表 者	会長 笹川 常夫
所 在 地	燕市柳山 1580 番地 (小池公民館内)
活 動 地 域	【構成自治会】 小池、小池新町、柳山、杉名、杉柳、道金、八王寺、大曲、緑町、水道町一丁目～四丁目

設立年月日	平成17年11月27日	
役員構成	会長：1人 監事：2人 総務部会長：1人 文教福祉部会長：1人 環境安全部会長：1人	副会長：1人 事務局：2人 総務部副会長：1人 文教福祉部副会長：3人 環境安全部副会長：3人

(2) 設立目的と事業内容

目的	<p>燕第一地区の自治意識の高揚を図り、地域社会の活動を通して住民同士の連携感を深め、思いやりの心を育て、安全で住み良い環境づくりと明るく元気な地域まちづくりを推進し、合わせて住民と行政の協働関係を推進することを目的とする。</p>
事業内容	<p>【主な事業】</p> 4～3月 健康体操教室 4～3月 防犯パトロール 4月 定例総会 7月 防災体験視察 6～8月 みんなで作る案山子勢揃い 9～10月 ものづくり教室 10月 地域防災訓練 11～1月 イルミネーション 年2回 会報発行

(3) 補助金の交付状況

(単位：円)

補助金の名称	補助金の交付額	
	令和3年度	令和4年度
燕市まちづくり協議会補助金	1,345,000	1,350,000

(4) 決算概要

<収入>

(単位:円)

財源内訳	令和3年度		令和4年度		比較増減	
	決算額 (A)		決算額 (B)		決算額増減 (B)-(A)	
1. 会費・参加費	0		80,000		80,000	
2. 市補助金	1,345,000		1,350,000		5,000	
3. その他	433,832		926,868		493,036	
合計	1,778,832		2,356,868		578,036	

<支出>

(単位:円)

部会	事業名	令和3年度		令和4年度		比較増減	
		決算額 (A)	うち補助金 充当額(a)	決算額 (B)	うち補助金 充当額(b)	決算額増減 (B)-(A)	補助金充当額増減 (b)-(a)
総務部会		787,871	550,767	681,697	372,246	△106,174	△178,521
	総会・役員会	3,888	3,888	0	0	△3,888	△3,888
	事務局	535,703	454,163	411,750	285,841	△123,953	△168,322
	広報紙発行事業	83,600	83,600	86,405	86,405	2,805	2,805
	交流会事業	1,134	0	974	0	△160	0
	かるた取り大会	163,546	9,116	182,568	0	19,022	△9,116
文教福祉部会		768,819	750,453	797,300	773,924	28,481	23,471
	ものづくり教室	19,164	19,164	18,202	18,202	△962	△962
	みんなで作る 案山子勢揃い	363,612	363,612	271,966	271,966	△91,646	△91,646
	地域交流事業	101,700	101,700	149,200	149,200	47,500	47,500
	健康体操教室 支援事業	187,000	187,000	209,000	209,000	22,000	22,000
	イルミネーション事業	97,343	78,977	148,932	125,556	51,589	46,579
環境安全部会		222,142	43,780	877,871	203,830	655,729	160,050
	地域防災訓練の実施	178,362	0	532,178	0	353,816	0
	燕第一地区防犯 パトロール事業	43,780	43,780	71,830	71,830	28,050	28,050
	防災体験・視察事業	0	0	273,863	132,000	273,863	132,000
合計		1,778,832	1,345,000	2,356,868	1,350,000	578,036	5,000

3 監査の結果・意見

(1) 調書、聴き取り、実地による確認事項

- ① 市からの補助金は、令和3年度は1,345,000円、令和4年度は1,350,000円で、全体の事業費に係る市からの補助金の割合は、令和3年度は75.6%、令和4年度は57.3%となっている。
- ② 燕第一地区まちづくり協議会は、地域社会の活動を通し住民同士の連帯感を深め、思いやりの心を育て、安全で住み良い環境づくりと明るく元気な地域まちづくりを推進し、住民と

行政との協働関係の推進を目的に、平成 17 年 11 月 27 日に設立され、本年 11 月で設立 18 周年を迎えた。

- ③ 実施事業のうち、毎年恒例となっている「みんなで作る案山子勢揃い」では、各自治会のほか子ども会や児童館など団体等への参加を呼びかけ、自由な発想のもと制作してもらい、地域内の農道に展示している。また、事業の中でも「地域防災訓練」は、自治会と小中学校などが連携を図り実施することにより、地域内での協力体制の構築や地域住民の防災意識の高揚につながっている。

コロナ禍においては、一部中止にする事業があったものの、大勢の人が一堂に会することを避けるなどコロナ対策を講じ、工夫を凝らして事業を継続して実施しているものもあった。

- ④ 地域内の各自治会から 1 世帯あたり 100 円で世帯数分の助成金をお願いするなど、使途に自由度のある自主財源を確保している。
- ⑤ 自治会などのサポートにより協議会の運営を行うことができている一方で、10 年以上務めている役員が多いなど、若い世代への引継ぎに苦慮しており、役員の担い手不足は深刻な課題である。

(2) 意見

燕第一地区まちづくり協議会においては、少子高齢化や核家族化の進展に伴い地域を取り巻く課題が複雑化・多様化している中で、地域のコミュニティ活動の推進のためにご尽力されていることに敬意を表するものである。

本協議会が実施している事業には、子どもから高齢者まで参加されており、さらに地域の親睦だけでなく、地域の支え合い・助け合い及び安全安心な地域づくりにつながる事業を積極的に実施されているものと評価したい。また、令和 2 年からのコロナ禍においては、他の地域では活動を断念している事例も少なくないと思われるが、「つばめっ子かるた大会」では、代替事業として保育園・小学校を通して子どもたちから作文や絵画を募集したものを展示し、地域防災訓練では大勢の住民が避難場所に集まることを避けるなど、本協議会が感染症対策に十分な工夫を凝らし、苦慮しながらも地域活動を継続していたことは、大きな評価に値することである。

全国的な課題である地域コミュニティの担い手不足は、本協議会でも深刻化している。災害時での助け合いや子ども・高齢者の見守りなど地域コミュニティの重要性が高まっていることから、地域内の自治会のほか各団体等の理解が深まり、役員の担い手不足の課題が解消され、組織運営が無理なく継続されることを望むものである。

(3) 地域振興課への意見

協議会の課題である担い手不足は、協議会の活動の縮小化を進め、地域の防災・防犯機能の低下や生活環境の悪化、地域における文化活動の衰退などを生むことも懸念される。この課題は、地域に任せて解決できるほど容易ではないと思われ、全国的な課題であることから、他自治体の課題解決に向けた方策などの情報を積極的に収集し、効果的な方策の情報提供や指導・助言など、市としても担い手育成の取組について検討されたい。

市内に13のまちづくり協議会がある中で、燕第一地区まちづくり協議会が市からの補助金だけでなく、使途に自由度のある自主財源を確保することで、安定した組織運営や活動しやすい体制づくりに取り組んでいること、さらにはコロナ禍においても創意工夫により事業の継続に努めたことは、他のまちづくり協議会にも参考になると思われる。今後もこのような地域の活動事例を他のまちづくり協議会と情報共有し、さらに協議会の運営状況を適切に把握しながら効果的な支援策に取り組まれることで、全市域において将来にわたり持続可能な地域コミュニティが形成されることを望むものである。